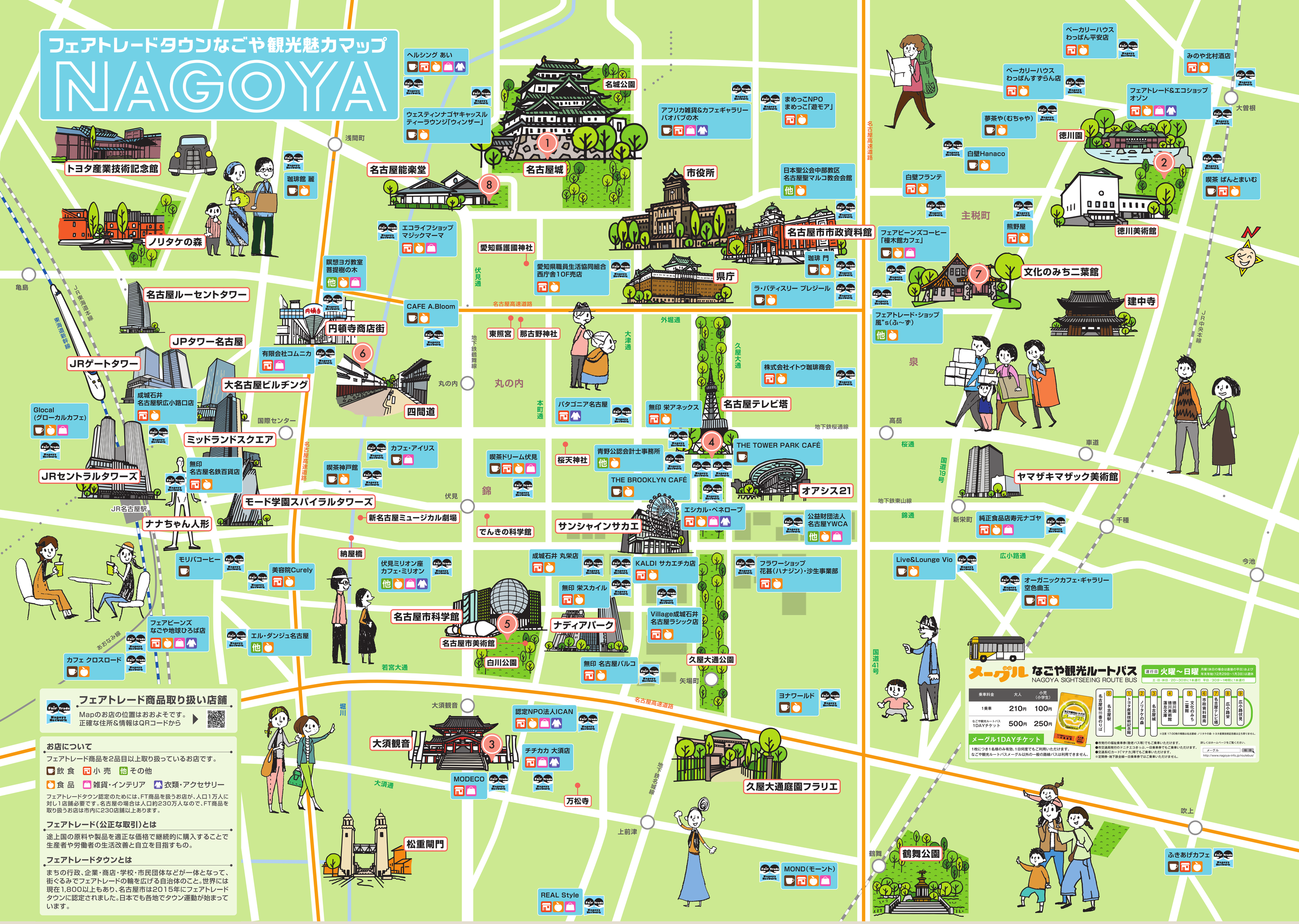
フェアトレードタウンなごや観光魅力マップ
NAGOYA



フェアトレード商品取り扱い店舗

Mapのお店の位置はおおよそです。
正確な住所&情報はQRコードから

お店について

フェアトレード商品を2品目以上取り扱っているお店です。

飲 食　小 売　その他

食 品　雑貨・インテリア　衣類・アクセサリー

フェアトレードタウン認定のためには、FT商品を扱うお店が、人口1万人に対し1店舗必要です。名古屋の場合は人口約230万人なので、FT商品を取り扱うお店は市内に230店舗以上あります。

フェアトレード（公正な取引）とは

途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで生産者や労働者の生活改善と自立を目指すもの。

フェアトレードタウンとは

まちの行政、企業・商店・学校・市民団体などが一体となって、街ぐるみでフェアトレードの輪を広げる自治体のこと。世界には現在1,800以上もあり、名古屋市は2015年にフェアトレードタウンに認定されました。日本でも各地でタウン運動が始まっています。

① 名古屋城

尾張徳川家62万石の居城で名古屋のシンボル。現在、本丸御殿の復元工事が進行中で、2013年5月29日から、「玄関・表書院」が公開となった。2016年6月1日からは、第二期として「対面所・下御膳所」の公開を開始。

② 徳川園

大名庭園の様式である池泉回遊式の日本庭園。徳川園では、四季を彩る花々が楽しめる。高低差の大きな地形、既存のまま取り入れた樹林など様々な特徴があり、日本の自然景観を魅力的かつ象徴的に凝縮している。

③ 大須観音

慶長17年（1612年）、徳川家康が美濃国大須庄から移した寺。またこの地域では、世界中のコスプレイヤーを通して新しい国際交流を創造するため、名古屋で誕生した「世界コスプレサミット」が2003年から毎年開催されている。

④ 名古屋テレビ塔

名古屋のシンボル、テレビ塔。「恋人の聖地」や「日本夜景遺産」に認定され、地上90mのスカイデッキ、100mのスカイバルコニーからは、御岳、白山などの山並みや市内一遠を一望できる。日本で最初に建てられた集約電波塔。

⑤ 名古屋市科学館

子どもから大人まで楽しみながら科学にふれることができる総合科学館。世界最大のプラネタリウム「Brother Earth」のほか、約240種類の展示を楽しめる。サイエンスショーをはじめとした実演・実験を毎日行っている。

⑥ 四間道（しけみち）

名古屋の城下を流れる堀川。その西側にあって、江戸時代の初め慶長15年（1610年）名古屋城築城とともに始まった清須越にともなってつくられた商人町。道路幅を四間（約7メートル）に広げたので、その名前がついたといわれている。

⑦ 文化のみち二葉館

「日本の女優第1号」として名をはせた川上貞奴（さだやっこ）が、電力王とよばれた福沢桃介とともに1920年から5年ほど暮らした和洋折衷の建物。郷土ゆかりの文学資料や貞奴・桃介に関する資料などを展示公開している。

⑧ 名古屋能楽堂

世界最大の能楽堂。舞台は総木曽檜づくり。定例公演時にイヤホンガイド（日本語・英語）を無料にて実施。能楽の歴史などについて紹介する展示室あり。月に4～5日能舞台施設を公開していて幽玄の世界を存分に楽しめる。

制作：名古屋市観光文化交流局ナゴヤ魅力向上室、環境局環境活動推進課　協力：NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク（FTNN）

平成28年12月現在